

留学先大学： ヴェネチア カ・フオスカリ大学

留学先での所属学部・研究科： _____

留学先での在籍身分： 交換留学生留学期間： 2013年 09月～ 2014年 06月神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部国際文化学科学年（出発時）： 3年本報告書記入日： 2014年 06月 30日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	C L A イタリア語A 2	paola begotti	5	3	1 5	主にその日に習った文法事項について、家で復習した。テストは文法と会話があり、より実用的な語学力が求められる。
2	C L A イタリア語B 1・1	paola begotti	5	3	1 5	同上
3	C L A イタリア語B 1・2	paola begotti	6	3	1 5	同上
4	letteratura giapponese3	luisa bienati	1. 5	6	6 0	当日出てきた文学作品を自分で調べて知識を補った。テストは日本語、英語、イタリア語から選べる。
5	letteratura giapponese classica	ruperti bonav entura	1・5	6	4 0	授業で聞き取ったイタリア語を家で辞書を使って確認したり、作品について調べたりした。テストは日本語、イタリア語とも可能。オーラル形式。
6	storia contemporanea	marco fincardi	4・5	6	3 0	聞き取ったイタリア語の確認や、授業で出てきた出来事や時代背景を復習した。テストは留学生向けに考慮してくれる。オーラル形式。
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズは授業によりますが、講義形式の授業は人数が多く、語学の授業は比較的少なめで、発言しやすい雰囲気だった。成績評価に関しては、現地学生も履修可能な授業では、留学生に対してテストの形式を考慮してくれたり、評価もわりと優しくしてくれる先生が多い。現地学生は図書館をよく利用し、勤勉で、授業にも積極的な態度で参加していた。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 20万円・住居費：（月額） 43000円 ×（留学月数） 10ヶ月 = 430000円・食費：（月額） 30000円 ×（留学月数） 10ヶ月 = 300000円・保険料： 200000円・その他： 200000円合計： 1330000円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

留学を終えて、一番印象に残っているのは人々の親切さです。到着直後から私の重いスーツケースを運ぶのを手伝ってくれたり、道をたずねれば丁寧に教えてくれ、わからないときはネットを使って調べてくれたりと、見ず知らずの私に本当に優しくしてくれました。寮の管理人さんや、先生、留学生課の方々も些細なことも含めて次から次へと私に起こるトラブルに、親身になって柔軟に対応してくださいました。このような多くの方々の思いやりがなかったら、留学生生活を無事終えられなかったかもしれないと思いました。

勉強面では、週3回のイタリア語の授業と、現地学生にも開講されている様々な分野の授業から自分の興味がある授業に参加しました。私はイタリアの近現代史に興味があったので、ヴェネチア史など様々な歴史関係の授業を聴講しました。しかし、私の不十分なイタリア語では授業の内容を全て理解することは難しく、テストを受けるのは諦めていました。イタリア語を聞き取る練習も兼ねて、いくつかの日本語学科の授業にも参加しました。海外の目線で語られる日本文学や映画、歌舞伎は非常に興味深く、テストもイタリア語で挑戦させてもらいました。そして第2期目には、イタリア近現代史の授業に参加し、先生のご好意でテストを受けさせてもらいました。先生から文献をいくつか教えてもらい、それを読んだ上での口頭試験でした。そもそも本を読むのが大変で、辞書を使いながら地道に読み進めました。試験では、頭では分かっているけどイタリア語で質問に対する答えを説明するのが大変でしたが、何とか無事合格することができました。私の他にもテストを受けた留学生が何人かいて、挑戦しようとする学生を温かく応援する大学側の姿勢が感じられ、頑張ろうという気持ちが増しました。

住居に関しては、私は大学で紹介してもらった寮に住みました。キッチンにコンロがないなど不便な点もありましたが、なにより安全で、寮の方も親切に対応してくれたので快適に過ごすことができました。私は12月からの2か月間、自分で探したアパートでイタリア人二人と住みましたが、初めて会った人と鍵のない部屋で生活することに不安もあり、キッチンや風呂、トイレなど共有部分での問題、家賃や光熱費が不透明だったことから、また寮に戻りました。もう少し慎重になるべきだったと反省し、安全性の重要性を実感しました。

留学生活を送る中で、いろんな人と出会い、友達になりました。語学力の至らなさで、もっと相手の話を理解したいとかもっと自分の言いたいことを伝えたいとか、もどかしく感じることもありましたが、向上心にもつながりました。このことが一番私のモチベーションに影響を与えていたと思います。帰国後も、せっかくできた友達とのつながりを大切に、コミュニケーション手段として大事なイタリア語の勉強も続けていきたいと思っています。